



寒暖の差が大きい今年の冬にあって、今年もインフルエンザが流行し始めてきました。本校はまだ無事ですが、油断は禁物です。どの学級も学年のまとめや卒業に向けての取組を始めています。まだまだ寒い日が続きますので、保護者・地域の皆様もどうぞ風邪をひかれませんように、うがい・手洗い・マスクの着用・換気に心がけていただきたいと思います。

目の不自由な三輪さんから 福祉について親子で学ぶ

毎年3年生が行っていた福祉学習を、今年は全校児童と保護者にも広げ、公開授業後にPTA研修を兼ねて実施しました。講師は、毎年お越しいただいている三輪利春さんと盲導犬のアラン君です。

三輪さんは36才の時に交通事故で失明されましたが、その後視覚障がい者の自立支援活動を推進してこられました。現在は、島根ハーネスの会（盲導犬使用者等で組織）の会長を務めておられます。

講演会では、アラン君の助けを借りながら障害物を避けて入場され、その後ご自分のこれまでの体験談を語っていただきました。視覚を失った当初は焦りから引きこもりになりがちだったものの、盲導犬とパソコンに出会ってからは、それまでお世話になった人へ自分にできることを還元しようと思って、今に至っているそうです。

最後に、これから視覚障がい者に会ったら、一緒に横断歩道を渡ったり声をかけたりしてほしいと言われました。斐伊地区ではきっとそんな温かな風景が見られることでしょう。



島根スサノオマジック横尾・岡本選手の夢授業が実現

プロバスケットボールチームの島根スサノオマジックに所属する横尾達泰選手と岡本飛竜選手が来校し、5・6年生へ素敵なメッセージを残してくれました。

始めに、一緒にバスケットの試合を楽しみました。華やかな技やおどけたプレーに会場は大いに盛り上がり、歓声と笑顔に包まれました。

その後教室で、バスケット選手になったきっかけや子ども達に伝えたいこと等を話してもらいました。横尾選手からは「夢を持ちそれに向かって努力すること、誰にでも挨拶をすること、友達を大切にすることを頑張してほしい」という話がありました。岡本選手からは「今日の前にあることに全力で取り組むことが、将来につながる」という話を聞きました。

お二人の話は、きっと子ども達の心に強く響いたことでしょう。素敵な出会い体験のひとつでした。



昔の遊びを一緒に楽しむ1年生

1年生が地域の方々に講師に招いて、こま回し、凧揚げ、羽子板、おはじき、お手玉などを一緒に楽しみながら、ふれあいを深めました。

今の子ども達はゲームばかり…と思いきや、上手に剣玉やこま回しを披露する子もいて、地域の方々が感心する一幕もありました。学校では今後もこうした交流の機会を持ち、地域の方との繋がりを大切にしたいと考えています。



昔の道具を学ぶ3年生

3年生は、加本孝之さんと西村幸夫さんを講師に迎えて、昔の道具の使い方や石臼を使ったきな粉作りを学びました。

見たこともない古い道具の説明に熱心に耳を傾け、当時の生活を想像していた子ども達でしたが、授業後には実際に手にとってみたり身に付けてみたりして、体感していました。

翌日には実際に石臼をひいてきな粉を作り、昔ながらの味を楽しみました。



教職員・保護者・児童による学校評価の結果 … 概ね達成できた と まだ努力が必要

今年の学校評価の結果が集計できましたので、お知らせします。数字は「十分達成している」と「どちらかという達成している」の、肯定的な回答が全体に占める割合で示しています。

【教職員による自己評価】

学校経営における重点項目ごとに具体的な取組指標を定めて自己評価を行いました。その結果、ほとんどの項目で概ね達成出来たとする意見が多かったものの「授業を見合って指導力の向上を図る」(25.0%)、「ICT機器を活用する」(33.3%)、「言語活動の充実を図る」(58.3%)、「学校図書館を活用する」(58.3%)、「保護者と連携して望ましい生活習慣の定着を図る」(66.7%)は改善の余地があることがわかりました。

【保護者による評価】

評価項目のほとんどが90%以上の肯定的な評価でした。そんな中で評価が低かったのは「子どもさんは、家庭で読書に親しんでいると思いますか」(48.6%)でした。また、記述による貴重な意見も多数いただき、ありがとうございました。これらの意見も参考にして、学校の様々な取組を見直し、次年度の学校経営や教育活動に生かしていきたいと考えています。



【児童による評価】

学校生活や学習意欲では「学校へ行くことが楽しい」(89.7%)、「友達に会うのは楽しい」(95.7%)、「授業はわかりやすい」(86.4%)が良い結果でした。勉強が好きですかという質問には、生活・音楽・図工・家庭科・体育・外国語が80%を越えたものの、国語・社会・算数は60%台という結果でした。また、「毎日家庭で読書をしている」(45.6%)、「授業で自分の考えを発表している」(59.2%)は課題が残りました。

一日入学+保護者説明会=入学準備OK

来年度入学予定の幼児と保護者を迎え、一日入学を実施しました。これまで、上級生にお世話になることが多かった1年生が張切って幼児達のお世話をし、幼児達もとても嬉しそうに一緒にいる姿は、見ていてとても微笑ましい光景でした。

入学してくるのが待ち遠しく感じられます。



6年生交流+入学ガイダンス=進学準備OK

ほとんどの子が4月から木次中へ進学する、木次町内4つの小学校の6年生が木次小に集まり、自己紹介やゲームを通して交流を深めました。

午後からは木次中へ会場を移動し、中学校の入学ガイダンスを聞いたり英語や音楽の模擬授業を体験したりして、中学生気分を味わっていました。



県版画展 入賞おめでとう！

個性的な作品がたくさんできました

- 【優良賞】1年 内田和奏, 岡本詩織, 坂田結菜, 白築果歩, 須山恵太, 原 光希, 深田絢音, 山根冬聖
2年 稲田姫星, 亀山佳稟, 佐々木秀人, 佐藤野乃華, 佐藤 亘, 佐藤柚華, 原 美月
細木勇希, 村松佳奈
4年 岡本千鶴, 勝部梨花, 古藤敬吾, 佐藤彪大, 曾田陸都, 田中悠歩, 多根名月葵, 錦織胡海
藤原有希, 細木和華, 矢田貝南菜
6年 大坂愛未, 武田 唯, 梅木颯太, 小村瑞希

【優秀賞】1年 河角海輝, 高橋りりあ

4年 宇都宮結海

6年 落海琉加, 勝代アイリッシュ, 安部 響

3年、5年は都合により出品していません

【佳作】紙面の都合で割愛します

2月の行事予定

25日(木) ストーリーテリング

3月の行事予定

- 2日(水) 6年生を送る会
7日(月) 地区児童会
9日(水) ストーリーテリング
16日(水) 卒業式予行練習
18日(金) 卒業証書授与式
23日(水) 給食終了
24日(木) 修了式, 離任式

今月のひとり言・・・



先日家族が入院し、病院でたくさんの方々にお世話になりました。その時に感じたことですが、医師や看護師の方は、患者の病気や怪我を治すというよりは、不安を取り除き、励まし、自立を支える立場で接してくださっているということです。勿論病状によりけりだとは思いますが、患者の家族としてはとても有難く感じました。

そして、このことは教育現場でも必要なことだと思いました。つまり、小さな子どもでも一人の人間として尊重し、不安や悩みに耳を傾けて気持ちに寄り添い、励ましたり誉めたりして自信を持たせ、自立する手助けをすることが、教師に求められているということです。

病気を治すのは患者自身の治癒力であり、精神力だと思います。そして、教育は子ども達の自己成長力を引き出すことかもしれません。